

マレムコンビ・チャヌ・モイランテム (マレム)

総合農村開発サービス機構 (IRDSO)

インド・マニプル州タウバル県

民族 / 部族: メイテイ
母語: マニプリ語
宗教: メイテイ(伝統宗教)
職業: プロジェクト・
コーディネータ補佐



仕事について：

「私生活では、家族、継続的な学習、自己成長とウェルビーイングのための研鑽を大切にしています。仕事では、チームワークを大切にし、同僚と深い関係を築き、共通の目標のために働くことを目指しています。」

マレムコンビ・チャヌ・モイランテムは、家庭・児童福祉を専門とする熱心なソーシャルワーカーです。彼女の強みは強い労働倫理観とリーダーシップで、より多くの聴衆を前にしても自信を持てるように、人前で話す技術の向上に努めています。

マレムは、農地、森林、都市部が混在するタウバルという地域の出身です。コミュニティの人々は抱擁力があり、文化的に豊かで、主に季節労働、農業、織物に従事しており、家族、信仰、文化的伝統が生活の中心にあります。コミュニティの課題としては、不平等な資源分配、若者の薬物乱用、家庭内暴力などがあります。

彼女は、社会的不平等や青少年問題など、コミュニティの課題に取り組むスキルを身につけた、意欲的なリーダーになる未来を思い描いています。

アジア学院では、リーダーシップを発揮し、前向きで平和な地域文化を育むことを目指しており、スタッフの指導を受けながら、「サーバント・リーダーシップ」に関する理解を深めたいと考えています。

送り出し団体について：

総合農村開発サービス機構 (IRDSO) はインドのマニプルで、ジェンダーの平等、平和構築、コミュニティの権利や能力を高めることを目指した活動を推進しています。先住民のコミュニティ、特に暴力や社会経済的課題の影響を受けている女性と子どもたちを支援しており、主な取り組みには、ジェンダーに基づく暴力の啓発、紛争解決、収入創出プログラム、子どもの権利擁護、生存者支援などがあります。団体は、卒業後もマレムが、農村地域で持続可能な平和と開発をもたらすための活動を続けてほしいと願っています。

農村リーダーたちについてもっと知りたい方はこちら：

[今年度の学生 - アジア学院 https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/](https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/)